

ひがしゆり

HIGASHIYURI

東由利町

2004

1

NO.586



私たち、申年。
今年一年がんばります！

あけましておめでとーございませう



町イメージ
キャラクター
「モウ太くん」



将来へつなぐ一年に

東由利町長 阿部 幸悦

新年明けましておめでとうございます。本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

昨年は天気にも悩まれた一年でした。順調な雪消えで春作業も心配なく始まりましたが、異常ともいえる好天に戸惑ったりもしました。夏になったら一転して曇天、低温、降雨の日が続き海水浴も満足にできませんでした。出来秋も雨降り続きで、収穫作業に大難儀をしました。全国的な異常気象で作況指数も九十を切るかといった状況であり、平成五年以来の不作と云われました。もともと、収量の減収分を米価の値上がりで補うということもあり、ホツとはしましたが本当に天気には悩まされました。今年はどうか良い天気にも恵まれますように心から祈念致します。

昨年は仕事始めの一月六日から、四十三年ぶりに改築移転された新役場庁舎で業務をスタートさせました。一月十四日に新しい議場で開会された初議会で、法定合併協議会の規約を議決することに複雑な思いをしたことです。

合併論議が進行していく中で、二年がかりの庁舎建設でした。事務の効率化と行政の拠点は、合併後もうしても必要なものですから、国の補助事業であるＩＴ関係整備も併せての建設となりました。

今、全国の市町村は、少子高齢化や地方分権、住民行動の広域化、そして地方財政の効率化など、どれも避けて通ることのできない環境にあります。特に我が町は、その典型的な状況にあることを思い、早晚合併問題が起こるだろうと判断をしたことでした。合併特例法の期限である十七年三月をめどに合併し、新しい一市七町での行政体をつくることに賛同したことでした。

法定合併協議会も月に一回のペースで開催されています。第九回の協議会には有鄰館で開催され、町民の皆さんも多く傍聴されたことでありました。平成十五年内に第十一回までが開催され、市役所の場所は決まり、どこでも大問題になるという新市の名称は公募などとして五つまでに絞られたことで了。概ね順調な協議が進行しております。

昨年は、こうした合併を意識しながらも精一杯の行政展開ができました。「黄桜の里」の語源でもある八塩いこの森の桜は、久しぶりに予定したイベント日に満開になり、これまで最多の観客を楽しませてくれました。秋の八塩は見事な紅葉でした。ポツメキの水も大変な評判になり、休日に水汲みに訪れた人は、二時間三時間待ちという状況でした。

また、健康と癒しのスポーツといわ

れるパークゴルフも盛況でした。八塩パークゴルフ場は、平成十九年のわか杉国体のデモンストレーション競技場にも指定され、さらに十八ホールを増設、山紫水明の里のシンボルとして八塩いこの森が、ますます充実された年になりました。

有鄰館も福祉施設の拠点として、エレベーターなど十分な機能を持つように再整備されました。社会福祉協議会の新しい事務所としても整備されたことです。

「あきたこまちと由利牛の里」のあきたこまちは、作況九十二と残念なことでしたが、由利牛は久しぶりに高値での売上でした。平成十六年度から米の政策改革が施行されますが、米と並ぶ大きな柱として改めて確認されたことでした。

今年は、東由利町が単独町として予算を組める最後の年になります。いろいろな問題を将来につなげていけるよう課題の整理に全力で取り組むこととす。

昨年七月、合併に全力で取り組むと申し上げ、町長職に四選されました。健康にも気をつけ精一杯頑張る一年にすることを申し上げ、町民皆様にも良い年になりますよう心から祈念して年頭のご挨拶に致します。

平成15年を振り返る

東由利町の 主な出来事

さまざまな出来事の中から
主なニュースを紹介します。



平成17年3月までの合併を目指して発足。県内では、仁賀保・金浦・象潟3町に次いで2番目の発足となりました。

1/15

本荘由利一市七町合併協議会
(法廷協議会)が発足



事務の効率化と住民サービスの向上を目指し建設された新庁舎で業務がスタートしました。

1/6

新庁舎で業務開始



個人消費の拡大と購買促進を図り、町内商工業の活性化につなげようと町商工会が発行。

8/1

東由利町
共通商品券を発行



野点や黄桜歌謡ショーなどのイベントも大盛況。3万人という過去最高の祭り客でにぎわいました。

5/10~11

黄桜まつり



3月2日に最後の卒業生13人を送り出し、55年の歴史に幕を閉じました。

3/31

秋田県立本荘高等学校
下郷分校閉校



本町と雄物川町を結ぶ林道。林業の効率化のほか、観光面で周辺地域の活性化につながることも期待されています。

10/17

「ふるさと林道」
三ツ森山線 開通式



陶芸愛好者や八塩小児童、アクティブパパ交流事業参加者など約250人が野焼きを楽しみました。

9/21

第27回全県
野焼きを楽しむついで



バリアフリー化を図り、お年寄りや小さな子ども連れの方など誰もが安心して利用できる施設になりました。

8/15

有鄰館が
リニューアルオープン

上記以外の

主な出来事

◆1月

- ・消防出初め式(6日)
- ・新春町政座談会(7~12日)
- ・「第1回本荘由利一市七町合併協議会」開催(21日)

◆2月

- ・「第1回明日のまちづくり懇談会」開催(7日)
- ・雪ものがたり2003(15~16日)

◆3月

- ・2003雪上野球W杯東由利大会(23日)
- ・スポーツ賞・芸術文化賞表彰式(8日)

◆4月

- ・伊東潔さん(岩館 100歳祝い(29日)
- ・県議会議員選挙(13日)
- ・公民館リニューアルオープン(21日)

◆5月

- ・自治会長会議(23日)
- ・交通安全亡事故ゼロ1500日達成(24日)

◆6月

- ・敬老会・70歳を祝う会(18日)
- ・第48回町畜産共進会(21日)

◆7月

- ・第10回スポーツ祭(6日)
- ・町消防訓練大会(20日)
- ・阿部幸悦町長が無投票4選

◆8月

- ・阿部弘章氏が町議会議員補欠選挙無投票当選(29日)

◆9月

- ・中学生海外研修(6~14日)
- ・成人式(15日)
- ・第45回社会人野球大会(15~16日)
- ・町戦没者追悼式(20日)

◆10月

- ・佐藤アキさん(東光苑 101歳祝い(4日)
- ・第3回町民パークゴルフ大会(5日)
- ・第3回横荘線メモリーウォーキング(7日)
- ・合同金婚式(12日)
- ・第24回民謡民舞秋田県連大会(24日)

◆11月

- ・秋まつり2003(25~26日)
- ・2003植樹祭(25日)
- ・第11回ひがしゆり音楽祭(26日)
- ・第3回やしお紅葉まつり(1~2日)
- ・防災訓練(2日)
- ・衆議院議員総選挙(9日)
- ・福祉と健康のついで(21日)
- ・フランス鴨&ワインパーティー(22日)

◆12月

- ・心の健康づくり講演会(2日)
- ・高橋宏幸賞童話秋田県コンクール(14日)
- ・大平スキー場開き(19日)

議会12月定例会

八塩いこいの森利用者 2,220人増加

町議会十二月定例会が十六日から十九日まで四日間の会期で開かれ、平成十五年度一般会計補正予算案、国民健康保険事業勘定特別会計補正予算案を含む九議案を原案どおり可決しました。以下、町長の行政報告可決された議案、一般質問の概要をお知らせします。

町長の行政報告(要旨)

【町民福祉課】

●防災訓練

十一月二日、館合地区で防災訓練を実施。負傷者の救護や地域住民の避難を重点的に行った。

●火災状況

十二月一日十二時四十分頃、黒沢字坂ノ下で住宅火災発生。出火原因などを現在調査中。

【特別養護老人ホーム東光苑】

●デイサービスセンター

本年四月一日より日曜日を除く週六日の営業。祭日の利用も可能となり利用者に好評。

●ショートステイ

利用希望日数を前の月に取りまとめ、希望多数の中から一日の定員を調整。緊急の要望には他施設の斡旋などにより対応している。

●東光苑の入所状況

四月以降三人が入退所。入所者の要介護度が進んでおり、施設運営のあり方に一層の工夫が必要。また、施設入所の申込状況は、十二月十日現在五十三人。

【建設課】

●国道一〇七号板戸第二工区

対岸地滑り個所の対策工法を検討中、十六年度には工事が本格化。トンネル入口付近のボックスカルバートは完成しており、来年度からトンネル

工事も本格的に開始される。

●国道一〇七号板戸第三工区(国体関連生活道路整備)

大上橋架け替えのための仮橋工事や畦畔築立工事と排水工事を進める予定。

●神岡南外東由利線

道路土工が横渡、岩館両側で完了し、完成検査を待つのみ。今年度事業として十月に路盤工と舗装工を発注し、横渡側国道交差点部分は年内に完了する見込み。本線側の本格工事は冬期間に入り、一部繰越となり来年春の工事となる予定。

●仁賀保矢島館合線

今年度三千万円の予算で峠付近の未舗装区間の改良工事に着手。矢島側軽井沢工区も今年度予算をもって完成の運び。

●横手東由利線

笹倉トンネル手前の雪崩防止柵・落石防止ネットや元碓石場付近のモルタル個所の打ち替え工事が行われ、三月末には完成予定。

●国道三九八号

昨年度に引き続き、二個所で待避所の設置が行われ、峠付近の急カーブの改良が完成。

●羽後向田館合線

羽後町側は既に用地幅杭が設置され年度内に用地買収、来年度は工事着手となる模様。本町側についても工事着手されるよう進める予定。

●横瀬横渡線

老朽化に伴い昨年から調査を進めてきた黒沢トンネルの補修工事が、一部大型車両が通行可能な大きさまでの改修も含めて計画されている。

●災害工事(果事業)

過年度災害二箇所と現年度災害八箇所の工事が発注され、工事量の大きい二箇所を除いて完了。住吉と杉森の工期は三月まで。

●台山線(歩道設置)

現在、橋梁床版工はコンクリートの養生中。今後、高欄整備や護岸工事、照明灯工事が行われる予定。館合側の道路工事も最終段階、完全な竣工は二月末。

●下小屋線(農道整備)

本年度百八十六万を整備。七月十四日に入札、十月九日に完了検査が行われた。今年度事業費は一千万円。

●蒲台線(林道整備)

六月末に工事を発注し、祝沢側三百七十万の改良がほぼ完成。

●土場沢線(同)

今年度分は八月七日に七百七十三万を発注し、現在舗装が完了。外側線等最後の仕上げと精算設計中。

●石塚線(同)

小倉側五百六十万、上里側五百八十八万の双方から工事着手しており、まもなく完了。

●パークゴルフ場整備

順調に工事が進み現在精算設計中、完成検査を残すのみ。

●公営住宅

四戸一棟方式の平屋アパートを建設することで九月四日に入札。現在、内装工事に入っており二月末の完成を目指す。

●災害関係

今年度発生した融雪災害について、九月議会で追加補正をいただき十二月十日に工事発注。今年度内の完成を目指す。災害箇所は十四箇所です。予算計上、工事費は四千二百五十一万八千円。

●水道事業

下水道に併せて法内、横渡上里、蔵蔵新田地区を工事。松沢浄水場薬注自動化工事も現在制御盤等の工場制作に入った。

●集落排水整備事業

十一月末現在までに発注が二十一件。最初に発注した横渡地区の舗装復旧は完了。法

内、上里、蔵、蔵新田地区も

順調に進行し一部を除き精算準備に入っている。高瀬川、

島宮橋の添架管工事及びマンホールポンプ五個所の設置工

事も進行中。処理場は十二月一日をもって業者から引き取

り、町の管理に入ったところ。今後、備品の発注や試運転を

行い四月からの本格始動に備える。

老方、館合地区の加入状況は戸数割合で四九・七四。

四月以降の下水道工事申し込みが二十七件、内二十五件が

供用開始

●合併処理浄化槽設置

今年度は六戸を計画。現在までに四戸が工事完了、二戸が申し込み中。

●冬期交通対策

今年度は、直営作業員を一人追加し九人体制で開始。十一月十三日に除雪連絡会議を行い、国県道合わせて百四十四の除雪作業を進める予定。

「産業課」稲作

十五年産米の集荷数量は九

万六千五百三十袋、計画基準

数量に対する集荷率は八〇・一。前年の集荷実績対比は

八四・六、一等米比率は九〇・九。

数量は前年比十六程度減少したが、仮渡金単価が三

〇ほど高くなっているため農家の実質収入の落ち込み

は、計算ではそれほど大きくならない見込み。

●冷害対策

天災融資法資金、農林漁業金融公庫資金、県単冷害対策資金、JA災害復旧支

援資金がある。今後、制度

の周知、借入希望の取りまとめ、審査・手続き、貸付

の順に実施。また、十二年度担い手農家稲作経営安定

資金の償還延長などを検討。今議会に予算補正をお願い

している。

●転作

秋確認を九月十日に、ホーククロップサイレイジ確認を九月三十日に実施。転作実績は三百九十八・四で、目標面積に対する達成率は一〇〇・三。

●米政策改革

産地づくり対策、稲作所得基盤確保対策、担い手経営安定対策、集荷円滑化対策の四本柱で構成。

町では、地域水田農業推進協議会を設置。幹事会と担当者会議も立ち上げ、担当者レベルで地域水田農業ビジョンの素案づくりと、生産目標数量配分のための基礎データづくりを進めている。

一月から二月に集落座談会でビジョンの素案説明を行い、三月末までには地域水田農業ビジョン案を決定、四月には県知事の承認を得る予定。県単資金とJA資金での対応が中心と見ている。十六年度目標数量の市町村配分は十二月十八日の予定、二月には農家に配分したい考え。

●中山間地域直接支払関係

九月に各集落協定の現地調査・確認を実施。交付対象面積は、急傾斜・緩傾斜合わせて九八二・八余り。十一月には基準検討会を、十二月には協定代表者会議を開催し、実績報告及び来年度の留意点などを確認。今年度交付金は一億八百二十三万八千円、来年一月下旬から二月上旬に交付予定。

可決された議案

◇手数料条例の一部改正

地積調査成果品のうち、筆界点座標値と図根点座標値の交付について、筆界点一筆及び図根点座標値一点につきそれぞれ五百円としたもの。

◇農用地整備公団事業負担金の免除

大規模な地滑りのため採草地としての現状復旧が難しい北ノ又団地農家の償還金を、平成十五年度から免除するとしたもの。

◇農業集落排水施設の設置及び管理に関する条例の一

部改正

蔵・法内地区農業集落排水施設（処理場）の名称、位置及び処理区域について追加したもの。

◇一般会計補正予算

二千二百六十四万四千円を減額し、予算総額を四十億五千二百六十八万四千円としたもの。歳出予算の主な内容は、▼人件費の減額一千百七十五万一千円▼町道維持費四百八十五万円。

◇国民健康保険事業勘定特別会計補正予算

八百三十七万円を追加し、予算総額を四億九千九十三万三千円としたもの。歳出予

算の主な内容は、退職被保険者等療養給付費などの精算見込みによる増額。

◇老人保健医療事業特別会計補正予算

一千八十万円を減額し、予算総額を七億四千五百二十八万三千円としたもの。歳出予算減額の主な内容は、医療給付費の精算見込みによる減額。

◇簡易水道事業特別会計補正予算

四百六十四万七千円を追加し、予算総額を四億一千三万二千円としたもの。歳出予算の主な内容は、農業集落排水事業合供施工負担金九百五十

七万九千円。

◇農業集落排水事業特別会計補正予算

百四十九万九千円を追加し、予算総額を九億四千九百九十八万三千円としたもの。歳出予算の主な内容は、簡易水道事業合供施工費九百五十七万九千円。

◇特別養護老人ホーム東光苑特別会計補正予算

三万九千円を追加し、予算総額を三億一千七百九十二万八千円としたもの。歳出予算の主な内容は、▼人件費三百三十五万二千円の減額▼備品購入費百三十八万九千円の増額。

●畑作

主要野菜の総販売額は五千七百十五万円で前年比九増。ミニトマト二千六百万円、サヤインゲン千四百四十八万、馬鈴薯八百四十三万、アスパラガス五百二十万。葉タバコは、葉肉は薄いものの平年作は確保できると見込んでいる。収納は一月十五、十六日。

●畜産

肉用牛は、二月から十二月までの販売頭数が五百九十四頭、販売金額は昨年より三千四百五十五万円多い二億五千四百四十七万円。子牛の販売金額が二億五千万円を超えたのは七年ぶり。

乳用牛は、四月から十二月までの生乳の販売数量が四百四十二で、まずは順調。

●土地改良

十一月二十七日に泡ノ淵開田のポンプ更新を発注。

一般質問（一部抜粋）

◆長沼久利議員

問 板戸吹欠倉地内に建設が予定されている産業廃棄物処理工場に対する行政の対応は、法律

答 当該事業の実施には、法律
県営ボツメキため池整備事業は十二月二十八日の工期で計画通りに進捗。完了後、引渡しを受けて地元の水利組合の管理で貯水を開始する。
県営地すべり防止対策事業については総事業費一億八千七百万円で、朴ノ木沢地区、沢内地区、大森地区、下吹地区、松ノ沢地区でそれぞれ工事を進めている。

●林業

高能率生産団地路網事業で、牧山線を今年度六百八十六・六開設。

【総務課】

●長谷山喜市郎氏の叙勲受賞

十月一日付けの高齢者叙勲で、長谷山喜市郎氏が勲六等単光旭日章を受章。

●第四十三回衆議院議員総選挙

投票率は七六・三六で、前回選挙より向上。

●秋田県過疎地域自立促進

上の手続きを経て県知事の許可が必要。町としては法律上の事務手続きに則り、住民の不安を払拭する対策を講じるよう意見具申するといった立場にある。

問 合併後の地域自治組織の運営方法は、

答 大自治会や公民館分館など

協議会長三期目に

十二月一日の役員改選で三期目の会長職を引き受けることに。

●後藤竹清氏の書を購入

議決を頂いた有鄰館備品の書を購入し、日本間に設置。

【企画課】

●市町村合併

本荘由利一市七町合併協議会を十回開催。二十九項目について協議確認。新市名称と議会議員の定数及び任期の取り扱いについては継続協議となっている。

●宿地域の携帯電話アンテナ整備

十月二十一日に建築工事、十一月十七日に電気通信設備工事を発注。工期は来年二月末まで、供用開始は四月からの予定。

●共通商品券

商工会が事業主体で八月一日に発売開始。九月十日に完

が、財政的裏付けをして行政と住民を結び機能を果たせればと考える。

問 合併時に各市町が持ち込む財政調整基金の額の調整方法は。また、その調整が十六年度予算編成に与える影響は、

答 各市町が持ち込む基金は十

売。換金率は十二月十日現在で九一。消費者、取扱事業所から再度発行してほしいとの要望があり、商工会から来年度に向け補助支援の陳情を受けている。

●八塩いっこの森

十一月十日で今年の営業を終了。各施設の有料延べ利用者数は一万五千五百四十人で昨年より二千二百二十人の増。パークゴルフ場は来年度から三十八ホールの営業開始となる。

また、幸福の橋を渡った先に、「幸福の鐘モニュメント」を設置。八塩山と黄桜をあしらった高さ五・六の本体アームに、青銅製の鐘を吊り下げたもの。十一月十四日に完成。

【教育文化課】

●小松音楽兄弟の資料収集

小松耕輔先生所有の書籍、研究書、音楽雑誌、草稿楽譜が、東京都上野学園大学に所蔵されているのを確認。また、

佐藤晃之輔氏（大潟村在住）が「小松音楽兄弟校歌資料」という本を編著され、寄贈を受けた。

●八塩小学校が文部科学大臣賞を受賞

全日本学校歯科保健優良校表彰で最優秀賞と文部科学大臣賞を受賞。秋田県学校歯科保健大会で「よい歯の学校最優秀校」表彰を受けた。

●中学校冬季スクールバス運行

寄宿舎の廃止に伴う冬季の通学対策として、小学校スクールバスを併用し運行。三十六人が利用している。

●高橋宏幸賞賞話コンクール

感想画は三年生、感想文は六年生までを対象に募集。応募状況は、感想文が七十二点と前年度より増加。感想画は幼児の部五百九十五点、小学生の部二千九百九十三点とどちらも前年度より減少。

は考えているか。

答 金額の保証はできないが、支援は必要と認識している。引き続き支援していきたい考え。

問 商品券発行の継続事業としての考えは、

答 今年度事業を総括し、補助効果が上がるような仕組みや要

綱の再検討をお願いしながら来年度も支援する方向で考えたい。

問 高校生の通学費は負担が大きい。町からの助成はないか。

答 通学形態が多様で、通学費としての助成は難しい。平成十二年度に拡大を図った奨学金制度の活用を望む。

問 利用者の増加が予想される学童保育の今後の整備は

答 将来的な需要増加も考慮し、注目しながら検討したい。

問 老方地区の流雪溝整備について、水量を確保するためにはポンプ自動化が望ましいのでは。

答 町単独では不可能。国道関連で県事業として対応したい。それまでは自然水を利用するのが良いと考える。

問 東由利球場の内野改修工事はなぜ延期されたのか。

答 天候不順に見まれ、満足のいく仕上がりが見込めないことから、工期内の完成は無理と判断した。

◆阿部 弘 章 議員

問 各地区の集会施設の補修整備を十六年度中に予算化することは可能か。

答 今後の財源の動向を見極めながら判断したい。

問 合併協議の説明の場として

町民が多く出席する新春町政座談会を拡大活用してはどうか。

答 一般要望と合わせ、主催者の皆さんにも是非そうした時間をとっていただきたいと思う。

◆小 松 賢 議員

問 航空防除は無人ヘリを併用するなどして環境に配慮した細やかな対応をとるべきでは。

答 航空防除への批判や環境問題については認識しているが、最も効果的な害虫駆除の方法でもあり、現場も大変苦慮している。ご理解をいただきたい。

問 緊急時に強い消防団の体制を整備してはどうか。

答 今の常備消防、非常備消防の体制を十分に整えていくことに対応したい。

◆小 野 健 議員

問 自衛隊の海外派兵についてどう考えるか。

答 国会で十分に議論された結果であり、自衛隊の働きを支持する。

問 公的年金制度の改正案についてどう考えるか。

答 老後の生活を守る改革であり関心を持って動向を見守りたい。

問 米政策改革が稼動した。本町の改革ビジョンはどうなっているのか。

答 地域水田農業推進協議会を立ち上げ、担当者レベルで奨励

金などについて議論している。農家に混乱のないよう伝えていきたい。

問 市町村合併により過疎化の進行や住民サービスが低下する、行政に声が届かなくなるなどの不安にどう応えるか。

答 地域審議会の設置とともに分館機能の充実強化、大字単位の自治会長組織の育成強化のほか、総合支所の組織・機能についても配慮していきたい。

◆工 藤 実 議員

問 基盤整備 水路整備 ため池整備 適正化事業による揚水機の支援が行われてきたが、頭首工整備への支援策はないか。

答 適正化事業は揚水機の支援に限った補助事業ではないので、産業課に相談すれば対応できると思う。

問 水稲の冷害に対する農家支援対策は

答 米価の値上がりもあり減収分を補える農家もあるので、全農家を対象にした行政支援はできない。農協の支援に協力する形で支援していきたい。農家個別には、状況をしっかり把握し必要があれば対応したい。

問 中山間地域等直接支払い交付金が五十一億円削減される。今後二年間の直接支払はどうなるのか。

答 農水省担当部局では、十六年度の支払いについては問題ないと言っている。本町にとっても良い制度だと評価しており、今後も続けていきたい。

問 週五日制で大幅に削減された学習時間確保のため、県内の小中学校で導入され始めた二期制にデメリットはないか。また、本町で導入計画はあるか。

答 二期制のデメリットとしては、一学期終了から二学期開始までの時期が忙しいこと、テストの回数が減り学力実態の把握が遅れること、学期途中に長期休業が入るため学校生活が中断されることが挙げられる。本町では現時点での導入は考えていない。

問 旧役場第二庁舎の解体、跡地活用について計画はあるか。

答 旧役場庁舎利活用計画検討委員会では、除雪ステーションとして活用していくことが最善との結論に達した。第二庁舎については除雪オペレーターの休憩所などに転用したい。

問 冬期間に交通量が増える「小田橋」を拡幅してはどうか。

答 現在進められている岩館バイパスの工事完成後の状況を確認したうえで判断したい。

◆佐藤 十 内 議員

問 来年度から米政策改革が新

たな枠組みで実施される。産地づくり推進交付金の助成制度に個人加入できない四割以下の農家が助成金をもらえるか不安。損失は発生しないのか。

答 九割保証をできるだけ多くの農家が受けられるよう責任をもって行政指導に取り組みたい。

問 家畜排泄物管理の適正化及び利用促進に関する法律が施行されるが、適応対象となる畜産農家に対してどのような行政指導を考えているか。

答 畜産振興基金を使って支援していけないかと考えており、十六年度の予算に反映していきたい。

問 各地区の集会施設の管理は財政的に苦勞する点が多い。町が委託している管理者ともしっかり話し合えるべきではないか。

答 管理人会議で、管理の仕方や施設の使い方、契約のあり方などについて話し合い、見直していきたいと考えている。

問 十六年度予算編成はどのように組み立てるのか。

答 地方交付税の動向からも分かるように国の情勢は厳しく、臨時財政対策費もかなり削られる。基金を取り崩し一般財源化して確保していきたい。

合併協議説明会

合併を考える



▲説明会では活発な質問・意見が
(写真は11月21日・老方館で)

問 全町民を対象にした「合併協議説明会」が十一月十六日から十二月十日まで、町内八会場で開催され、新市まちづくり計画や合併協議会の協議案件などについて活発な意見交換が行われました。その話し合いの主な内容を紹介します。

問 地域審議会とは何か。

答 首長の付属機関で、首長の諮問事項の審議や必要と認める事項について意見具申する役割を果たす。構成員の選出など詳細についてはこれからの議論となる。

問 総合支所には、どのような機能が残るのか。

答 住民からの相談が多い町民福祉課や建設課、産業課などが残ると考えている。

問 総合支所に決裁権、予算執行権はあるのか。

答 災害などが起きた場合の急な支出も考慮し、ある程度金額を支所長の判断で支出できる体制にしたいと考えている。

問 合併後の税金や水道料金はどうなるのか。

答 住民税は、新市の人口が五万人を超えるため、地方税法の規定により二千五百円に

上がる。国保税については今後の協議。

水道料金については、本町は県内でも高い方なので合併後は安くなると思う。

問 議会は定数特例ではダメか。

答 住民の混乱を避けるための特例法なのだから、議会が法定協議会の結果を見届けるべき。在任特例を適用し、任期を延ばす方が良いと考える。

問 在任特例を適用した場合、議場はどう確保するのか。

答 審議の方法は常任委員会体制になると考えている。場

所は問題にならない。

問 税金の報奨金はそのままか。

答 個人への前納報奨金は無くなる方向。

問 合併特例債の使い方について、現時点での話を聞かせてほしい。

答 合併によって必要となる事業の財源が特例債。想定される事業として、ケーブルテレビや加入者系光ファイバ網といった情報通信施設整備をはじめ、文化会館、運動公園、消防・防災施設、ごみ処理施設などが候補にあがっている。

第10・11回本荘由利一市七町合併協議会

新市名称を5候補に絞る

第十回本荘由利一市七町合併協議会が十一月三十日、岩城町「岩城会館」で開催され、新市名称の第二次選考の結果、五つの候補に絞られました。

新市名称の第二次選考として、前協議会で絞られた二十一候補について各委員による

投票が行われました。開票の結果、有効投票数は四十票、そのうち「本荘市」十七票、「由利市」七票、「由利本荘市」六票、「鳥海山市」五票、「鳥海市」五票となり、五候補に絞り込まれました。

十二月十八日には由利町「善隣館」で第十一回合併協

議会が開催され、この五候補をさらに絞り込むための協議が行われましたが、「旧市町名は使いたくない」「住民の声を反映させるべき」など多様な意見が出たため、協議を継続。各市町で選考の方法論を検討し、一月八日に開催される第十二回合併協議会で意見を出し合うことになりました。

新市名称に続く大字名については、現市町名を使用できることを確認。現市町名を大字に使うかどうか、使う場合に「町」を含むかどうかは、各市町の選択に委ねられることになりました。

議員定数・任期については、継続協議となっています。

また、社会教育事業の取扱いは、成人式を新市において統合するかどうかについて等、意見が分かれました。

以下、第十、十一回合併協議会で確認された主な事項を



▲新市名称第2次選考は投票で

第6回明日のまちづくり懇談会 新市名称、 新住所に提言



▲活発な意見交換が行われた懇談会

市町村合併に関する課題や要望を地域住民から聞く「第6回明日のまちづくり懇談会」が十二月十二日、役場会

議室で開かれ、新市名称などについて改めて活発な意見交換が行われました。

会では、阿部幸悦町長が「県内の合併論議が難航しており、難しい問題だと再認識している。この会で多くの意見、議論が得られるようお願いしたい」とあいさつ。その後、合併協議会の決定事項や案件などについて懇談が行われました。

継続協議となっている議会の任期及び定数については、▽世論では議論し直すべきという意見が強い、原案の撤回はないか▽定数特例で各町か

ら二、三人の議員を選出できる仕組みにできないかーなどの意見が出されました。

同じく継続協議の新市名称や字の区域、名称については、▽大字が入れば旧町名を住所に付ける必要はない▽名前が決まらないと落ち着かない▽名前以外に話し合うべき重要項目はたくさんあるはずーといった意見が出されました。

また、納税貯蓄組合については、「末端の自治会をどのよう運営していくかが新市の円滑な推進に結びつく」といった意見が出されました。

その他の意見、提言を紹介

します。

▽由利高原鉄道は新市に引き継ぐことになるが、廃止も含めて検討すべき▽農業委員の人数が減って一番困るのは農家。農業委員の特例はないか▽ケーブルテレビを延伸した場合、個人負担はどれくらいか▽総合支所で一番権限のあるのは誰か▽国立療養所秋田病院跡地はどうなるのか▽保育園の運営費が一般財源化されるとの報道がある。現在は公立施設だが将来的には法人施設もそうなると思う。今までのような対応が維持できるように望む。



▲第10回協議会で意見を述べる小松義嗣副議長

紹介します。

▽納期前納付奨励金を合併時に廃止、納税貯蓄組合への報奨金、奨励金等は統一▽消防防災に係る組織を現行のとり新市に引き継ぐ▽奨学金貸付と修学旅行助成を合併時に統一▽学校給食、スクールバス運行、遠距離通学費補助を現行のとり新市に引き継ぐ▽各市町の所有する財産及び債務を全て新市に引き継ぐ▽既存の財産区については、現行のとり新市の財産区として存続する。また、各市町が所有する立木が処分される場合

は、それぞれの地域に配慮すること▽ごみ収集業務と資源ごみの分別収集は現行のとり新市に引き継ぐ▽現行の清掃手数料は廃止し、新市において新たな制度の導入を図る▽ごみ処理施設は新市に引き継ぐ▽診療所事業を現行のとり新市に引き継ぐ▽基本健康診査、各種ガン検診については、対象者及び自己負担金について合併時に統一するよう調整する▽人間ドック助成事業は、対象者及び助成額について合併時に統一する▽土地改良事業については、新市

において統一した受益者負担になるよう段階的に調整する

▽農地・農業用施設災害復旧事業については、新市において統一した受益者負担割合になるよう段階的に調整する。

◇ ◇ ◇

**第12回合併協は
本荘市で開催**

とき 1月8日(木)
午後2時～4時
ところ 本荘市「本荘由利広域交流センター」

皆さんの傍聴をお待ちしています。



▲首長立ち会いのもとで行われた調印式

八商工会は、今年七月に合併推進協議会（村岡淑郎会長）を立ち上げており、対等合併すること基本合意。本所を本荘市商工会とし、その他商工会館を支所として活用することが確認されています。

称を使用することとし、新会長は来年五月の総代会で選出されます。

本荘市由利七町の八商工会は十二月十八日、本荘市のホテル「アイリス」で、平成十六年四月一日に対等合併すること合併契約書に調印しました。

調印式には、八商工会の役員や一市七町の市町長ら約百五十人が参加。八商工会長が合併契約書に署名し、市町長が立会人を務めました。

新商工会の仮名称は「本荘市由利七町商工会」。一市七町が合併した場合は、新市名称を使用することとし、新会長は来年五月の総代会で選出されます。

本荘市由利7町商工会 合併契約書調印式

来年4月1日に対等合併

平成16年度農業用軽油の 免税証申請受付と交付

平成十六年度の農業用軽油引取免税証の申請受付及び交付を次のとおり行います。免税証を申請される農家の方は、必要書類を持参のうえ、指定日に会場までお越しください。

◎申請受付

とき 1月28日（水）

午後1時～3時

ところ 有鄰館

◎免税証交付

とき 3月8日（月）

午後1時～3時

ところ 有鄰館

※当日準備するもの

申請書類一式（原税課備付け）・使用者証・印鑑（共同

申請の場合は全員のもの）・耕作証明書・軽油納品書（前回購入分）・免税軽油の引取り等に係る報告書・機械の購入証明書（新規申請者又は機械を変更した者のみ）

工業統計調査にご協力ください

十二月三十一日現在で、「工業統計調査」が実施されます。

十二月三十一日現在で、「工業統計調査」が実施されます。

調査にあたり、調査員が十二月下旬に調査票をお届けし、一月上旬に回収いたしますので、対象となる事業所におきましては、調査票の記入をお願いします。

調査票の記入

なお、調査票に記入された内容は、統計法に基づき秘密が守られますので、正確な記入をお願いします。

お問い合わせ 役場企画課（69-2113）

産業廃棄物税制

1月1日から

県では、産業廃棄物の発生の抑制、減量化、リサイクルなどの適正な処理促進に関する施策の費用に充てることを目的に、平成十六年一月一日から産業廃棄物税を導入します。

（中間処理業者を含む）

◆税率

最終処分場に搬入される産業廃棄物の重量1につき千円。

◆税金の徴収方法

最終処分業者が排出事業者又は中間処理業者から税金を受け取り、毎月分を翌月末ま

でに申告納入する。

◆税金の使途

環境にやさしい企業の育成・支援、リサイクル技術の研究・開発支援など。

お問い合わせ

由利地域振興局県税課（23-4106）

町職員の給与の現状をお知らせします

情報公開の一環として町職員の給与等の現状についてお知らせします。

職員の給与は、人事院の給与勧告、他の地方公共団体との均衡を考え、町議会での議決を経て条例で定められています。

1. 人件費（平成14年度普通会計決算）

住民基本台帳人口 15.3.31現在	歳出総額 (A)	実質 収支額	うち人件費 (B)	構成比率 (B/A)
4,886人	5,094,509(千円)	147,412(千円)	666,136(千円)	13.1%

※人件費には、特別職（町四役、議員、非常勤の特別職等）の給与や報酬などを含みます。

2. 職員給与費（平成15年度一般会計当初予算）

職員数 A	給 与 費				1人当たり 給与額 (B/A)
	給 料	職員手当	期末・勤勉手当	計 B	
66人	240,548千円	45,637千円	100,813千円	386,998千円	5,863千円

※職員手当には、退職手当を含みません。

3. 職員の初任給（平成15年12月1日現在）

区 分	一 般 行 政 職		技能労務職
	大 学 卒	高 校 卒	高 校 卒
初 任 給	170,700円	138,800円	136,000円
採用2年後	184,400円	148,500円	145,500円

4. 職員の経験年数別、学歴別平均給料月額 の状況（平成15年4月1日現在）

区 分	経験年数	10年～15年未満	15年～20年未満	20年～25年未満
一 般 行政職	大学卒	—	328,500円	357,700円
	高校卒	222,400円	289,800円	284,100円

5. 平均給料月額、平均年齢の状況

区 分	平成15年4月1日		平成14年4月1日	
	平均給料月額	平均年齢	平均給料月額	平均年齢
一般行政職	329,500円	41歳0ヵ月	321,000円	41歳4ヵ月
技能労務職	246,600円	44歳2ヵ月	250,100円	43歳2ヵ月

6. 職員手当の状況（平成15年度）

①期末・勤勉手当の支給割合（国と同じになっています）

区 分	6月期	12月期	3月期	計
期 末 手 当	1.55月分	1.45月分	—	3.0月分
勤 勉 手 当	0.70月分	0.70月分	—	1.4月分

②退職手当の支給割合（国と同じになっています）

区 分	勤続20年	勤続25年	勤続35年	最高限度
自 己 都 合	21.0月分	33.75月分	47.50月分	60.00月分
勸奨・定年	28.875月分	44.55月分	62.70月分	62.70月分

③時間外勤務手当の支給実績（選挙担当職員分を除く）

平成14年度	支 給 総 額	13,983千円
	職員1人当たり支給額	194千円

④管理職手当の支給率（平成15年4月1日現在）

7 級	主席課長補佐	4%
	課 長 等	8%
8 級	主 幹	10%

⑤扶養手当、住居手当、通勤手当の月額（平成15年12月1日現在）

手当名	区 分	支 給 額
扶養手当	配偶者	13,500円
	その他1人目	6,000円
		6,500円
		11,000円
	その他2人目	6,000円
	その他3人目から（1人当たり） 満16歳年度当初から満22歳年度末までの1人につき	5,000円
住居手当	借家 自家で新築から5年目まで	最高 27,000円 2,500円
通勤手当	交通機関利用 自動車等利用	最高 50,000円
		最高 20,900円

7. ラスパイレス指数の推移

年 度	平成13年度	平成14年度	平成15年度
ラスパイレス指数	92.9%	94.0%	91.4%

※ラスパイレス指数とは、国家公務員の給与を100とした場合の町職員の給与水準を表す数値をいいます。

8. 特別職の報酬等の状況（平成16年1月1日現在）

区 分	報酬月額	区 分	報酬月額	期 末 手 当
町 長	805,000円	議 長	273,000円	6月期 1.55月分
助 役	610,000円	副議長	233,000円	12月期 1.70月分
収入役	570,000円	議 員	218,000円	計 3.25月分
教育長	540,000円			

9. 一般行政職の級別職員数の状況（平成15年4月1日現在）

区 分	8級	7級	6級	5級	4級	3級	2級	1級	計
標準的な職務内容	主幹	課長・主席課長補佐	課長補佐	係長	主査	主任	主事	主事補	
平成15年度職員数	2人	8人	9人	19人	6人	9人	9人	4人	66人
構成比	3.1%	12.1%	13.6%	28.8%	9.1%	13.6%	13.6%	6.1%	100%

※町の「一般職の職員の給与に関する条例」に基づく給料表の級別区分による職員数です。

10. 部門別職員数の状況（各年4月1日現在）

区 分		職 員 数		対前年増減数	主 な 増 減 理 由
部 門		14年	15年	15年	
一 般 行 政 部 門	議 会	2	2		
	総務企画	21	22	1	新庁舎移動に伴う庁務員増
	税 務	4	4		
	民 生	6	6		
	衛 生	4	3	△ 1	事務の統廃合
	農 林	12	10	△ 2	事務の統廃合と退職不補充
	商 工	1	2	1	業務増
	土 木	5	6	1	業務増
	小 計	55	55		
	特別政 務部	教 育	20	19	△ 1
小 計	20	19	△ 1		
普通会計 計		75	74	△ 1	
公 営 企 業 等	水 道	2	2		
	下水道	1	1		
	その他	35	37	2	業務増
	小 計	38	40	2	
合 計		113	114	1	※平成15年度職員内訳 (一般行政職員66人・単純労務職員36人・臨時職員12人)

2004

新春インタビュー

申年ご夫婦にききました

何気なくしてきたことが一番ありがたい。

小野勝男さん・節子さん

(歳・昭和19年生まれ)



「ご結婚されて何年ですか？」

勝男さん「今年で三十五年目です」

「心に残っているご夫婦の思い出はなんですか？」

節子さん「随分昔のことですが、二人で沖縄や九州を旅行したことです」

勝男さん「歳をとって歩けなくなる前と思って、遠い所に行きました」

「お二人の楽しみや趣味は？」

勝男さん「山歩きです。山菜採りや茸採りが好きです」

節子さん「私は読書が好きです。新聞から小説まで何でも読む雑読です」

「お互いに一言」

勝男さん「仕事をしていたとき、毎日弁当を作ってくれてありがとう。感謝しています」

節子さん「毎日の会社勤務ご苦労様でした。冬道の通勤も大変だったでしょう。お互い何気なくしてきたことが、今は一番ありがたいと感じています」

「2004年の目標は？」

勝男さん「二人三脚で一日一日を大切に過ごすことです」

2人の楽しみは日々成長していく子どもたち

畑山敏則さん・晴美さん

(大妻・昭和43年生まれ)



「ご結婚されて何年ですか？」

敏則さん「今年で十二年目です」

「心に残っているご夫婦の思い出は何ですか？」

晴美さん「やっぱり二人の子どもが生まれたことです」

「お二人の楽しみは？」

敏則さん、晴美さん「子どもたちが、日々成長していく姿を見ることがです」

「お互いどんな旦那様

一番の思い出は孫の結婚式

島山久八さん・イヨさん

(老方・昭和7年生まれ)



「ご結婚されたのは何年ですか？」

久八さん「昭和十二年です」

イヨさん「物のない時代だったので、服は自分たちで作ったものです。刺繍や縫い物など手先を使うことが好きで、今でも縫ひは自分で直します」

「心に残っているご夫婦の思い出は何ですか？」

イヨさん「名古屋に嫁いだ娘が、私たちが遊びに行くたびに京都や大阪などを連れて歩

様 奥様ですか？」

敏則さん「自分を飾らない、そして優しい人です。つい先日、風邪で寝込んだのをしっかり看病してもらいました」

晴美さん「優しい人です。子どもの面倒をととても良く見てくれる良き父でもあります」

「2004年の目標はなんですか？」

敏則さん「疲れを感じやすくなったので、健康の大切さを実感しています。2004年の目標は、夫婦二人が健康でいることです」

「してくれたことです」

久八さん「昨年一番の思い出は、九月に孫の結婚式に出たこと。本当に嬉しかったです」

「お二人の楽しみは何ですか？」

イヨさん「やっぱり孫ですね。七人の孫がいますが、本当にかわいいです。親切な子たちで、本当に優しくしてくれます」

「2004年の目標は？」

久八さん「転ばないように、病気をしないように気をつけて、健康を心がけることです」

ニュース & トピックス



▲地域の皆さんから温かいメッセージが贈られました

より良い八塩小を

大人から子どもへのメッセージ

地域との懇談会「大人から子供へのメッセージ」が十二月十日、八塩小学校で行なわれ、全校児童や保護者など約百五十人が参加しました。

同懇談会は、地域の大人たちが児童へメッセージを贈り、その言葉をもとにより良い八塩小学校をつくってほしいという願いを込めて行われました。出席した地域の代表者は五人、それぞれの立場から自分の言葉で児童たちに語りかけました。

地域と小学校の密接な関係から生まれる大きな力に期待がかかります。



▲佐々木亜美さん（写真左）と遠藤温美さん

亜美さん優勝、温美さん準優勝

高瀬卓球スポーツ少年団

第二十五回本荘市由利郡卓球選手権大会が十一月二十二日、二十三日、本荘市民体育館で開催され、高瀬卓球スポーツ少年団の佐々木亜美さん（大琴）が五年女子の部で優勝、遠藤温美さん（小倉）が同じく準優勝に輝きました。

自宅にも卓球コートがあるという亜美さんと温美さんは、「家でも練習したので大会で良い結果が出せたと思う」と優勝、準優勝の喜びを語ってくれました。

「小松音楽兄弟校歌資料」が町へ

佐藤晃之輔さんが寄贈

祝沢出身の佐藤晃之輔さん（大潟村在住）から、町に「小松音楽兄弟校歌資料」三十部が寄贈されました。

同資料集に収められているのは、小



▲寄贈された「小松音楽兄弟校歌資料」

松音楽兄弟が作曲した全国各地の校歌二百十一曲の楽譜で、玉来中学校をはじめ、既に廃校になった学校の校歌も収められています。これらは、佐藤さん自身が平成二年から十年余りの歳月をかけて収集したものの。町では、広く町民の皆さんにも活用していただくため、公民館にこの資料集を設置しています。

祝沢川が全国ベスト3

14年度河川水質調査

環境省が行った十四年度の河川水質調査の結果、本町の祝沢川の水質が全国で三番目に良いことが分かりました。この調査は、毎年違う河川を対象に

実施しており、十四年度の調査対象は全国の三千三百水域。調査内容は、微生物が水中の汚れを分解するときに使う酸素の量を測定するというもので、祝沢川など汚れの少ない清流では、この数値が〇・五以下になります。



▲調査地点となった祝沢川と石沢川の合流点付近

今回の報告をきっかけに、他の町内河川の水質もますます改善されることが期待されます。



知っておきたい Q&A

Q. グループホームとはどのようなサービスなのでしょうか。

A. グループホーム（痴呆対応型共同生活介護）とは、痴呆の状態にある要介護者について、住居において5～9人の少人数による共同生活を営みながら、介護スタッフによる入浴、排泄、食事などの介護、日常生活上の世話や機能訓練を受けるサービスをいいます。自立や要支援と認定された方、共同生活を営むことに支障のある方などは受けられません。

グループホームは居宅サービスなので、入居には介護保険による一割負担以外に以下の費用が必要になります。

1. 家賃
2. 食材料費
3. 理美容代
4. 水道光熱費
5. オムツ代
6. その他日常生活において、その入居者に負担が適当と認められたもの

月々の費用は、各グループホームによって異なりますので、入居される際は、各グループホームに事前にご確認ください。

問い合わせ 町民福祉課福祉係 69-2118



国民年金は 20歳から！ 年金だより

新成人になられた皆さん、おめでとうございます。

日本国内に住所のある20歳以上60歳未満の厚生・共済年金等に参加していないすべての人が国民年金に加入し、保険料を納めることになっています。「年金なんてまだ先のこと…」などと思いませんか。国民年金は老後だけでなく、病気やケガで傷病の状態になったときなどにも年金が支給されます。

しかし、加入の届出や納付を忘れると、年金が受けられないこともあります。忘れずに手続きしましょう。

問い合わせ 町民福祉課保健係 69-2117

ほけんしのコラム

いきいき健康教室

ゆっくり休んで、うつ病撃退！

うつ病は、誰もがかかる「心のかぜ」。ストレス社会の現代で最も急増している心の病気です。症状として挙げられるのは、憂うつ、意欲が出ない、悲観的などの精神症状や、不眠、体重減少、頭痛、下痢などの身体症状です。

うつ病撃退には「休養」が欠かせません。労働から心身を解放し「休む」こと、失ったエネルギーを補給し「養う」ことを心がけ、人生を充実させることが大切です。

慢性的な精神疲労から、心身のバランスを崩す人も多く、中高年のうつ病や自殺増加は社会問題となっています。人間の心と身体は壊れそうになると「疲れ」という危険信号をだしますが、多くの人はそれに気付かず、無理を続けてしまうのです。

「休養」の意味をしっかりと理解し、体のこりや心の緊張をほぐし、爽快な気持ちで毎日を過ごしましょう。



十二月家畜市場

東由利・成立

区 分	頭数	平均体重	平均価格	kg当単価
去 勢	53	285kg	508,240円	1,702円
雌	38	265kg	411,489円	1,494円
全 体	91	277kg	467,838円	1,602円

最高価格

	金 額	父	母の父	母の祖父
去 勢	607,950円	平茂勝	紋次郎	北国7の8
雌	548,100円	平茂勝	安福165の9	栃 錦

木材共販市況

(平成十五年十一月・平均価格
四十五年生～五十五年生)

径 級	単 価 (石)	備 考
直材36cm上	—	
24～34cm	3,700～3,850	
14～22cm	3,300～3,750	
13cm下	—	
曲 り 材	—	

乾燥材が好値で取引されたが、小口の手当てで量的にはまとまらず、約50%の売れ行き。

林業 だより 特用林産物の 生産動向

「特用林産物」とは、きのこ類や樹実類、山菜類、竹材、桐材、木炭などの総称であり、農村村における所得向上と就労の場として大きな役割を果たしてきました。しかし、山村地域の過疎化と生産者の高齢化、輸入品の増加などから全国的に特用林産物の生産量が減少傾向にあります。

きのこ類は、乾しいたけ、生しいたけ共に中国からの輸入の影響で年々生産量が減少しています。また、生しいたけは原木栽培が減少して手間のかからない菌床栽培が増えています。なめこ、えのきたけ、ぶなしめじは、需要の停滞から生産量が頭打ちの状態です。一方、地中海沿岸原産のえりんぎが和食、洋食、中華の食材としての人気から生産量が増えました。くり、くるみなどの樹実類は安価な輸入品に押されて年々減少を続けています。桐材は需要量のほとんどを外材が占めることになり、植栽は皆無に等しく国内生産量は二四〇〇しかない状態です。木炭も輸入炭に依存し、生産量が減少しています。

(町林業懇話会長 佐藤恒悦氏)

おとなり情報

～本荘由利の催物などを紹介します～

本荘市から

本荘新山神社裸まいり

と き…1月18日(日) 8:30
ところ…本荘新山神社とその周辺町内

本荘市観光協会 24-6323

第39回本荘風あげ大会

と き…1月18日(日) 受付9:00
ところ…ポートプラザアクアパル
内 容…風愛好者が一同に会し、各地の伝統風、創作風の力作を持ち寄り競い合う。

本荘風の会事務局 片村ケイ子
22-0615 (夜) 22-8037 (昼)

石脇蔵の市

と き…1月18日(日) 10:00～16:30
ところ…齋彌酒造店 ビン詰め工場
内 容…酒の試飲や銘菓の即売。米蔵を改造したギャラリーでの写真・陶芸展も予定。

本荘市観光協会 24-6323

スキー講習会のお知らせ

由利本荘公認スキー指導員連絡協議会でスキー講習会を開催します。

- と き…1月12日(月) 10:00～15:00
 - ところ…鳥海高原矢島スキー場
 - 参加費…1,000円 (リフト券は各自準備)
 - 申し込み…ハガキまたはFAXに、電話番号、氏名、年齢、性別、スキー技術レベル(上・中・初級・全初)を記入の上、1月6日まで(先着30人)。
- 〒015-0211 由利郡東由利町宿字大琴62-2
石綿 喜代隆 電話 69-3234 FAX 69-3349

仁賀保町から

にかほ雪祭り2004

と き…1月25日(日) 9:00～14:00
ところ…仁賀保高原巾山スキー場
内 容…◇チューブゾリレース、人間犬ゾリレース、雪中グラウンドゴルフ大会ほか ◇参加無料、申し込みは当日
仁賀保町産業課 37-3111

プラスチック板でオリジナルキーホルダーをつくろう!

と き…1月11日(日)、12日(月) 10:00～11:00、14:00～15:00
ところ…フェライト子ども科学館
フェライト子ども科学館 32-3150

大内町から

岩谷麓ワタワタ

と き…1月15日(木) 18:00
ところ…岩谷麓地内
内 容…地域に伝わる小正月行事。地域の人々が新婚家庭を訪れ夫婦円満、子宝を願う。
大内町産業課 65-2216

初地蔵標詣

と き…1月24日(土) 11:00
ところ…岩谷麓 折渡千体地藏尊
大内町産業課 65-2216

通算47回第17回本荘由利新春俳句大内大会

と き…1月31日(土) 10:30開会
ところ…農村環境改善センター
大内町社会教育課 65-2210

寒鯉追込漁

と き…1月24日(土)予定 9:00
ところ…金崎橋上流
大内町企画課 65-2213

12月

公民館行事から

親しまれるサポーターへ

子育てサポーター活動



▲青いエプロンで活動中のサポーター。ウサギが目印

平成十四年度から活動を開始している町の子育てサポーター。現在、月一度の保育園でのボランティアのほか、こどもまつりの参加など、町の子供たちのために奮闘中です。この度、一層親しまれるサポーターへと、エプロンを統一しました。サポーターの目印として、お気軽に声をかけてください。

問い合わせは教育文化課
(六九)二三三〇

バレーボールで歓声

家庭バレーボール交流大会



▲優勝を飾ったギャルズのみなさん

十二月一日から十五日まで町民体育館において、冬期間の運動不足解消を目的にした家庭バレーボール交流大会が開催されました。

五日間にわたる熱戦の結果、ギャルズが優勝を飾りました。会場には終始歓声が響きました。二位以下の結果は次の通りです。

二位 ミルキー
三位 蔵スーパレディス



「博士の愛した数式」

小川洋子著・新潮社

交通事故で、記憶の積み重ねが出来なくなった数学博士と、家政婦の私、その息子十歳が織りなす七ヶ月間の物語。今年最高の一冊と、初めから断言しよう。

今までどの家政婦も、音を上げ博士の担当を辞めていく中、「私」とその息子だけは違った。八十分で記憶がリセットされてしまう博士に対して、この二人はいつでも誠実に向かい合う。そして二人に対して、博士も自らの愛する数学の世界、数式の美しさを真摯に説く。そんな日々を送るうち「私」の中で、博士に対する尊敬や信頼の思いに加えて、お

大切な人間の愛する世界を自分も理解したい、知りたいという「私」の気持ちは「少しでもあなたに近づきたい」という無意識の行動に表れる。図書館の数学書の本棚。そんな誰も寄りつかない一隅で「私」がひとり頁をめくり、博士の書いた数式の意味を調べる姿は、本当にひたむきで美しい。だが、「私」の博士への想いは絶対に届かない。何故なら八十分後には、「私」の存在は、博士の中から全て消えてしまうから。思えば、他者と関わるうえでこんな残酷な話はないだろう。しかし、だからこそ博士と過ごす八十分間は、その瞬間毎に永遠となり、純度の高い鉱物のように真実の輝きを放つ。そんな限られた時間の中で、三人が通わせるそれぞれの想いは、みな純粹で慈愛に満ちている。「恋愛小説」と帯にはあったが、この世界は恋愛を超えていると思う。そして、この三人の関係は「愛でる・慈しむ

事故のないスキー場運営を

大平スキー場オープン



▲今年の冬スキー場スタッフ一同お持ちしています

十二月十九日、大平スキー場がオープン、関係者は快適で事故のないスキー場運営を誓い合いました。

開業期間は三月七日(休業日は毎週月曜日、十二月三十一日、一月一日、までです。昨年度の入場者数は六千三百七人でした。なお一層の利用が期待されます。スタッフ一同お待ちしております。問い合わせ・大平スキー場(六九)二三三〇

という言葉の持つ、ほんとうの意味を私たちに教えてくれる。また、数学・数式という、感情の入り込む余地のない分野を、このような繊細な世界に表せる作者の筆力にも脱帽した。

こんなに透明で、そして美しい小説を、私は今まで読んだ事がない。文句なし今年のベスト1です。(7)



- ①「サウンドトラック／古川日出男」
- ②「終戦のローレライ上・下／福井晴敏」
- ③「九月の四分の一／大崎善生」

①二〇〇九年・ヒートアイルランド化した東京。神楽坂にはアザインが流れ、西荻窪ではガイコクジン排斥の嵐が吹き荒れていた。これは真実か夢か。熱帯都市・東京をサバイブする若者たちを描写する長編

②戦争。もはや原因も定かではなく、誰ひとり自信も確信も持てないまま、行われている戦争。あらかじめ敗北という選択肢を持たなかった戦争。一その潜水艦は、あてどない航海に出た。太平洋の魔女と恐れられた兵器。ローレライを求めて。「彼女の歌声がもたらすものは、破壊か、それとも」。

③世界一美しい、と言われる石畳の広場でひとり途方にくれていた。逃れるようにして辿り着いた場所。君と出会った。失ったはずの大切なものを僕は取り戻し、君はあまい姿を残して、追われるように姿を消した。失われた時の痛みとぬくもり、心のゆらぎを紡ぐ短編(8)

ふるさと 七九 むかしむかし

宝のひょうたん

むかしむかし、あるところに何年経っても少しも良い運がめぐってこない爺さまがいました。爺さまは、どうか福運を授かるようにと七日七夜観音堂にこもり、観音様に一生懸命に願をかけました。満願の朝、久しぶりに空は澄んできれいです。爺さまは、気分よくお堂の坂道を降りてきました。すると、後から大きなひょうたんが一つ転がってきます。びっくりした爺さまが、「はて、どこから転がってきたのだろう」とひょうたんを手にとると、その中からぴょん、ぴょんと二人の子どもが飛び出てきたのです。

「おいたち金七、孫七っていうんだよ。願いごとがあるならかなえてあげるよ」爺さまは不思議なこともあるものと首をひねりながら、「…団子と酒がほしい」と頼みました。すると二人の子どもは、ひょうたんを逆さにして団子と酒を出し、爺さまは大喜びでご馳走になりました。そして「ああうまくいった」と上機嫌で金七、孫七の手をつないで帰るのです。

それから爺さまは、田圃や畑で働いている人や暮らしの容易でない人を見ると、ひょうたんのなかから色々なご馳走を取り出して、みんなに振舞ってやるのです。

この話を耳にした一人の馬喰がひともうけをたくらみ、「爺さまや、俺の馬七頭と小判三百両で、そのひょうたんと取っかえてくれまいか」と口説き始めました。

爺さまは固く断るのですが、側にいた金七、孫七の二人が「いいからあげてやれ」と耳打ちするので、馬喰にひょうたんを売ることにしました。馬喰は馬と三百両を置くと、ひょうたんを抱きしめ逃げるように出ていくのです。

ひょうたんを持った馬喰はお城

にかけこみ、殿さまから山ほどのほうびをもらおうと考えたのです。以前から不思議なひょうたんの話を聞いていた殿さまは、早速馬喰を大広間と呼び入れ、「そのひょうたんからご馳走を出してみよ」と言いました。「ははっ、かしこまりまし



た」と馬喰は得意顔でご馳走を出そうとしましたが、ご馳走どころか水一滴出てきません。あわてた馬喰が、ひょうたんを振ったりたたいたり、のぞいたりしてみましたがやっぱり何も出てこないで、怒った殿さまは家来に命じ、馬喰をお城の外へ放り出しました。

一方爺さまのところでは、このひょうたんのお陰でたいへんな金持ちになり、金七、孫七の子どもたちと一緒にいつまでも楽しく暮らすことができたということです。

(文と絵 石渡力造氏)

季節を詠む

(せせらぎ句会)

鼻啼く民話のような村あかり	横渡	高橋 ヒデ子
みぞるや里は静かな佇まい	山崎	小松 良子
雪吊の縄繰る技の阿吽かな	横小路	小松 丈介
びったりの子のお下りの毛糸帽	上通	小松 メサ
枯木立月光棒のごときかな	高戸屋	小松 敏雄
夕焼と朱を競ふかに木守柿	中通	小松 順之助
菜畑に残るもの無き小春かな	新町	寅田 敏雄
恙なき事ふり返る冬至かな	五海保	嶽石 レイ
父の歳足しての樹齡冬の山	沼	鈴木 孝弥
買物の行き交う人の息白し	時雨山	吉川 葉子
山里の奥は見せざる冬の霧	横小路	宮野 源二郎
つつましき奢り鑄物の暖炉買う	舟木	大庭 喜右衛門
日めくりの柱にやせて十二月	蔵新田	小笠原 亮子
日向ぼこ母のありし日今にして	上里	小野 石路子
日は山に早くも消へて霜の声	舟打場	高橋 民治郎
行く秋に顔突き出して柵の牛	久保	高橋 典三
安全旗ひらめき忙し十二月	小倉	遠藤 トミ子
老体に鞭打ちながら雪囲い	蔵新田	小笠原 トミ

お口の健康豆知識

ひみこは「卑弥呼の歯がい〜ぜ」

噛むという行為は、私たちが考えている以上に健康生活に欠かせないものです。その効果を分かりやすく表した言葉があります。それは「ひみこのはがい〜ぜ」です。

ひ……肥満防止

み……味覚の発達

こ……言葉の発音がはっきりする

の……脳細胞の働きが活発になる

は……歯の病気を防ぎ、だ液がたくさんでる

が……ガン予防（だ液に含まれる酸素には発がん物質の作用を消す働きがあります）

い……胃腸の働きを促進する（だ液の中の消化酵素がよく出ます）

ぜ……全身の体力が向上し、活力がわく

卑弥呼といえば弥生時代。噛まない、噛めなくなった現代で古代食が見直されているのは、しっかり噛まないと食べられなかった食事にこのような効果が含まれているからなのです。

日本の民話・昔話を学ぶ

石渡力造さんの「むかしっこ」

石渡力造さんの「むかしっこ」を教育情報ナショナルセンターのホームページ(<http://www.nicer.go.jp/>)で楽しむことができます。教育情報ナショナルセンターは、あらゆる教育情報を扱うWebサイト。「むじなのしっぽ」など石渡さんが提供した3つの昔話は、秋田県の民話・昔話として紹介されています。



アイドルをさがせ!

小松 夕華ちゃん
(蔵・11ヵ月)
お父さん：正義さん
お母さん：淳子さん
お話し：淳子さん

名前の由来は？

「響きの優しい感じがとても気に入ったので付けました」

好きなものは？

「キティちゃんと家で飼っている猫のミミです」

家族では誰になついていますか？

「おばあちゃんです。外に散歩に連れていってもらうのを楽しみにしているようです」

本人の性格は？

「活発で、何にでも興味を示して動き回ります」

お父さんとお母さんから夕華ちゃんへひとこと

「仕事から帰ってくると、いつもニコニコ笑顔で迎えてくれてありがとう。これからもかわいい顔をたくさん見せてね」



阿部 ひとし さん (小倉・19歳)

—職業は

湯楽里のレストラン「やしお」で働いています。

—趣味は

パチンコとドライブです。この間は、十和田までドライブした帰りに、五城目町でガス欠になりJAFのお世話になりました。

—自分の性格は

職場の人や友達には、1つのことに夢中になる性格だと言われます。

—理想のタイプは

自分のことのように相手を考えられる人。小柄で目がパッチリした人が好きですね。

—目標、夢は

幸せな家庭を持つこと。

—東由利町のおすすめスポットは

もちろん、レストラン「やしお」です。

データ東由利

住民基本台帳

	11月末人口	前月比
男(人)	2,336	— 1
女(人)	2,498	— 1
計(人)	4,834	— 2
世帯数(戸)	1,368	0

	11月異動人数	1月からの累計
出生(人)	4	23
死亡(人)	7	72
転入(人)	6	71
転出(人)	5	119

消防・交通

	10月発生数	1月からの累計
火災出動(件)	0	2
救急出動(件)	15	131
交通事故(件)	0	2
死亡(人)	0	1
傷者(人)	0	2
飲酒運転(件)	0	1
酒気帯び(件)	0	3

1月の行事予定

- 1日** 元旦
- 4日** 消防出初め式
- 5日** 仕事始め
新春町政座談会
(蔵分館 大蔵館13:30)
- 6日** 新春町政座談会
(玉米分館 玉米会館9:30)
(老方分館 老方館13:30)
- 7日** 新春町政座談会
(法内分館 克雪管理センター9:30)
(住吉分館 住吉館13:30)
- 8日** 第12回本荘由利一市七町合併協議会
機能訓練教室
- 11日** 新春町政座談会
(宿分館 高瀬館13:30)
- 12日** 成人の日
- 13日** 予防接種(個別・風疹)
- 14日** 小中学校始業式
青年バレーボールリーグ開幕
- 15日** 幼児健康相談
ナイタースキー教室(～16日)
- 17日** わくわくサークル
(スポーツ吹き矢&ミニテニス)
- 22日** 第13回本荘由利一市七町合併協議会
食生活改善講習会
乳児健診
ナイタースキー教室(～23日)
機能訓練教室
- 23日** 予防接種(個別・三混)
- 27日** 2歳児健診
- 28日** ことぶき大学・健康大学
- 30日**

東由利

郷土の野草

NO.227

ヤブコウジ

ヤブコウジ科

これはマンリヨウ、センリヨウ、ヒヤクリヨウ(カラタチバナ)のように樹木といわれる部類で、本町にも群生地があります。実の美しさから「ヤマタチバナ」や「ジュウリヨウ」とも

文・写真 小松忠正氏

いわれ、正月用の盆栽に賞用されるので、紹介しました。「万葉集」にも「あしひきの山橘の色に出でよ語らい継ぎて逢うこともあらむ」とあります。茎の高さは30くらい、葉は楕円形で鋸歯があり、厚つぽく、根は横に浅く伸びます。花は白色5弁花を下向きにつけ、真っ赤な実をつけます。

戸籍の窓口

(11月21日・12月20日届出)

●お誕生おめでとう

12/2 小林 ちなやん 浩二 黒瀬

12/11 太田 竜也く 久美 隆蔵

●ご結婚おめでとう

12/9 鈴木 政也さん 袖山
長谷川 恭子さん 秋田市

●ごめい福をお祈りいたします

12/27 畠山 菊一さん 三三夫 父・下通
12/28 佐藤 金子さん 房蔵 妻・地下沢
12/1 佐藤 幸一さん 文雄 父・黒瀬
12/2 阿部 アキノさん 貞雄 妻・蔵新田
12/12 小野 ミドリさん 勝造 母・上里
12/16 佐藤 鶴松さん 85 フチノ 夫・大吹川

※広報への掲載を希望しない方は、届出の際にお知らせください。

読者からの投稿

投稿者 久保 敏 崎 敏 夫さん



「畠山東市郎さん(茂沢)の木炭窯を紹介し(10月20日撮影)。本人が改良を重ねて造ったちょっと珍しい形の窯で、今冬に向けて一度に60kgずつの木炭を作ったそうです。」

広報送付謝礼として次の方から金一封をいただきました。
(11月21日・12月20日)
堀井ヤス子さん(岩城町) 小笠原米吉さん(秋田市)、伊藤栄子さん(村山市)、阿部恒夫さん(秋田市)、在京宿小会社会福祉協議会に次の方からご芳志が寄せられましたのでご紹介いたします。
遠藤実さん(横小路、長谷山亭市郎さん(秋田市)、畠山三三夫さん(下通、大沼武且さん(蔵)



ほっとひといき

私にとって2003年は「出会いの年」でした。学生時代の友だちと別れ、少し細かい社会人のスタートでしたが、先輩や上司、取材先で会う人々の温かさに励まされました。2004年もたくさんの人と出会い、たくさんのことを学びたいと思います。

それでは、2004年も皆さんにとってすばらしい一年になりますように。(晃)